

# WACNET. Vision to2030

## 愛は国境を越えていく 地域のしあわせ！世界のしあわせ！

未来がどう変わるか、誰もわからない。現実を踏まえて明日があると信じる。  
多くの市民が明るい社会を描けば必ず未来は明るい社会となる。From 加藤政実

日本は74年前(1945年)、モノとおカネの価値を一番とした社会へと舵を切る。さらに遡れば150年前(明治維新)私たちの先輩達は文明開化として西洋に追いつく道を選択する。モノを中心にしたモノづくり大量生産大量販売の経済システムは、一度は成功したかと思えたが、実は日本の精神性、習慣、倫理観、家族制度などそれまでの地域社会・家族関係を崩壊させた。今、私たちは呆然と**崩れ去った社会**を俯瞰する。

○発達障がい急増、薬物依存、一人暮らし世帯… **35%**

○超高齢化・少子化社会・人口減  
○児童虐待・シングルマザー・孤独死・介護放棄 **25%**

○老老介護・認知症・精神障がい

WACNETグループは、対処法としての地域社会での課題・生活課題に向き合い、その解決のため20年間活動してきた。世も平成から令和へ。新しい息吹を感じながら、次の時代へ向かう。生活圏コミュニティの形成と地域創生(地域社会の機能復活)。一人一人が孤立しない生活圏コミュニティ、医療福祉と産業が程よい関係を保つ。一人一人が精神性を保つには程よいスケール感と目に見える距離が必要であり、その先に生活圏コミュニティと生活圏コミュニティが集まることで地域圏域が作られ、目に見える範囲で地域経済も動いていく「**持続可能循環型地域社会(SROC)**」。次の時代、私たちはグローバル化する世界と人間が、人間らしく生活するコミュニティを同時に手にすることで、快適な人生を歩むことができる。その大きなチャレンジが今始まる。日本の**豊橋市向山・旭地区**から……。

### 「時代は創るもの。与えられるものではない」

今地域にある問題・課題は、資本主義の終末現象であり、今絶頂期にある中国を含め、今後アジア各地においても必ず起こる現実でもある。今あるこの痛みは、この壁を乗り越えることで、そこにシステムとノウハウが生まれ、多くの国で将来起こるであろう出来事に向けて日本人としての役割が生まれる。絶望的と考えるよりポジティブに。今こそ地域の課題、日本の課題に向き合うことでマーケットは生まれ、解決することで市場は拡大していく。これから活躍を期待される人にとり未来は非常に明るい。時代は創るもので与えられるものではない。

### 「愛は国境を越えていく。 地域のしあわせ！世界のしあわせ！みんなのしあわせ！」

WACNET.Visionは、生活圏コミュニティを小さく作り、お互いがたすけあいシェアし人間らしさを優先する世界を描く。そこには高齢者・障がい者・生活困窮者、シングルマザー、外国人など差別はなく、共に生活したすけあい暮らす。そして目に見える産業がそこにある。ディーセント・ワークがあり、NPO発のベーシックインカムがある。そして、地域にあつた形で地域を活性化し、個性あるまち誕生させ、人々の暮らしを豊かにする。その先には、世界のまちを活性化させ、人々の充実した生活を実現させる。